

パンをつくろう

パンの絵本 (596 頁)

パンどうぞ (E 七)

彦坂 有紀／作, もりと いずみ／作 講談社

パンどうぞ、ぱくつ。のことばにあわせて、さまざまなパンがでできます。さいごにいろいろなものをはさんでつくるのは…? ことばのリズムがよく、もくはんがのせんさいでやさしいふんいきが、パンのあたたかさややわらかさにぴったりな絵本です。

マフィンおばさんのぱんや (E コ)



竹林 亜紀／さく, 河本 祥子／え
福音館書店

マフィンおばさんはにんきのパンやさん。そこではたらくアノダッテは、じぶんもパンをやしてみたと思っ、よるにこっそりちかしつでパンをつくりはじめます。ところが、パンだねが大きすぎて、かまどに入れたパンはどんどんふくれあがり、いえ中にひろがってしまいます。

ぼくのぱん わたしのぱん (E ハ)



神沢 利子／ぶん, 林 明子／え
福音館書店

パンをつくったことはありますか?

パンはこむぎこやしお、さとうでつくります。水やバター、そしてパンにかかせないのはイースト。これがパンをふくらませます。ちいさな子どもでもわかりやすくパンのつくり方を知ることができる1冊。

かたおか ふさこ／へん, やまふく あけみ／え

農山漁村文化協会

パンのしゅるいやれきし、ざいりょうのはなしから、パンのつくり方まで、これ1冊でパンについてくわしくなれます。日本ではパンはおかしとしてたべるイメージがありますが、がいこくではそうではなく、いろいろなパンがあることがわかります。

イーストンと春の風 (E サ)

巢山 ひろみ／文, 佐竹 美保／絵 河出書房新社

イーストンのもりのパンやでは、こまったことがおきていました。かまの火のようせいがおどれなくなり、火がおこせなくなりました。これではおいしいパンがやけません。やがて、それは春一番のかげがおどりをぬすんだせいだとわかりました。イーストンは春一番をさがしに出かけますが…。

せかいのみんなのパン・パン・パン! (E コ)

クリスティーナ・キンテロ／ぶん,

サラ・ゴンサレス／え,

星野 由美／やく ほるぷ出版



せかいにはいろいろなパンがあります。ざいりょうやつくり方を少しかえるといろいろなパンがたのしめます。この絵本では、ふだんよくたべるパンだけでなく、なじみのないパンもでできます。どんなパンがあるか見てみましょう。さいごにはレシピもついています。

きつねのぱんとねこのぱん (E チ)

小沢 正／作, 長 新太／絵 世界文化社



きつねのぱんやさんは、ある日おきやくさんからねこのぱんやのほうがおいしいと言われておちこんでしまいます。一方、ねこのぱんやもじぶんよりきつねのぱんやのほうがおいしいと思、ついにびょうきになってしまいました。やがてふたりはびょういで会います。

まよなかのだいどころ (E セ)

モーリス・センダック／さく, じんごう てるお／やく
富山房

まよなかにさわがしい音をききつけたミッキーがだいどころに行ってみると、そこではパンやさんたちがよるもねないであさのケーキをつくっていました。ところが、ミルクがなくてこまっていたため、ミッキーはミルクをとりに向かいます。ぶじあさのケーキはできるのでしょうか。センダックの名作絵本。

パンがいっぱい (E オ)

大村 次郷／写真・文 福音館書店

日本でパンをたべるようになったのは100年ほど前ですが、人がパンをつくりはじめたのはおそくとも800年前だそう。パンづくりは西アジアから広がりました。そこでは日本では見られないようなパンがたくさんあります。そんなパンのつくり方や町のようすをいきいきとした写真でしようかいした絵本です。

